

モニターレポート（10月報告）

【報告内容①】

五泉市さといもまつりに行ってきました。さといも掘り体験に参加するため、9時頃受付したのですが、参加定員1,200名の中でぎりぎり間に合いました。参加者の中には、朝6時から並んでいたという人もいたほどでした。

会場周辺の早出川河川敷には、ゴミなど落ちてなく草も刈られており、前夜降った雨で若干足下が悪かったのですが、その後晴れてきたので、参加者・主催者共にホッとしたことでしょう。

【事務所からのコメント】

五泉市では、毎年10月第2日曜日を「さといもの日」に制定して「五泉市さといもまつり」を開催しています。ご報告のとおり、とても人気のあるイベントで、9時の受付開始前から大勢の人が行列をつくり、受付開始まもなく1,200名の定員に達してしまうこともあるそうです。

秋になり、五泉市さといもまつりに限らず様々なイベントやスポーツ大会が開催されていますが、このようなイベントを通じてより多くの人に川に親しみをもってもらえるよう、引き続き河川の清掃美化に努めてまいります。

【報告内容②】

10月1日から阿賀野川に白鳥が飛来し始め、日に日に増えて今では横雲橋右岸から北区高森の右岸まで約1,000羽ほどが羽を休めた後飛び立っていきます。しかし11月15日頃から狩猟が始まると白鳥が来なくなるのではないかと不安です。

以前の阿賀野川河川敷には、芦とヨモギが主に茂っていましたが、最近では外来種のセイタカアワダチソウが増えていると実感しています。繁茂を押さえる有効な方法はないのでしょうか。

担当地区の河川敷公園を見て回りましたが、目立ったゴミも落ちてなく気持ちの良い状態でした。高森近くの公園では、トイレ掃除の方が周辺のゴミ拾いをしているのを見かけましたが、仕事とはいえ感謝です。

【事務所からのコメント】

阿賀野川にも多くの白鳥が飛来し、収穫後の田んぼでえさをついばんだり、中州で羽を休めている姿が見られるようになりました。

セイタカアワダチソウなどの外来種対策は、全国の河川で課題になっており、その中でも特定外来種に指定されている「アレチウリ」や「オオキンケイギク」などは、河川巡視等で見つけ次第駆除しております。

※複数のモニター報告を要約してあります。

モニターレポート（10月報告）

【報告内容③】

自然再生事業としての焼山ワンドにおいて、ブラックバスが密放流される可能性が高いと思います。

ブラックバスは止水域を好むため、ワンド近くの本流に放流されてしまえば、勝手にワンドに入り棲みついてしまいます。そこで、ワンドでのルアー釣りそのものを禁止にしてみてもどうでしょうか。ルアー釣り自体使い方によっては危険であったり、周辺や水中の環境にとっても良くありません。

ルアー釣りの禁止は、ブラックバスの密放流を防ぎ、生態系を守ることからも重要ではないでしょうか。

【事務所からのコメント】

ブラックバスの話がありましたが、焼山地区のワンドでは、ブルーギルが確認されています。環境省所管の外来生物法によって、ブラックバスやブルーギルは「特定外来生物」に指定されており、野外への放流だけではなく、飼育・運搬なども禁止されています。違反すると重い刑罰に処せられることもあります。

河川の利用は「自己責任」に基づく「自由使用」が原則となっており、当事務所の管理する阿賀野川は川幅が広く、多数の方々がさまざまな目的で利用しています。利用者一人ひとりが安全対策を徹底し、マナー遵守のうえ河川利用をお願いしたいと思います。

【報告内容④】

すっかり秋の季節に入り、気温が著しく低くなってきました。

阿賀野川で釣りをしている人は少なくなってきましたが、スポーツの秋ということで、阿賀野川沿いの公園や野球場などでは、体を動かしている人が目立ちました。

【事務所からのコメント】

この時期、スポーツの秋を河川敷で楽しむ方が大勢いたそうですね。

しかし、冬の訪れも遠くはありません。

日が暮れるのも早くなり、気温も下がってまいります。

これから寒くなるとモニター活動も大変かと思いますが、体に気をつけてください。